

第4学年 国語科学習指導案

実施校 東京都小平市立小平第五小学校
授業クラス 第4学年2組
実施日 平成24年2月9日(木)6校時
授業者 第2学年3組担任 佐藤和紀 印略
追試授業クラス 第4年1組
実施日 平成24年2月14日(火)6校時
授業者 第4学年1組担任 西島尚子 印略

1. 単元名 アップとルーズで伝えよう(光村図書)

2. 単元の評価規準

- 写真と文章を対応させて、説明的文章を、興味をもって読もうとしている。
(関心・意欲・態度)
- 写真と対応した部分に注意して読み取り、アップとルーズ、それぞれの特徴をまとめることができる。
(書くこと)
- それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているかを考えながら読むことができる。
(読むこと)
- 典型的な接続表現の意味を理解することができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関わる事項)
- 一つの事実でも視点を違えることで色々な見方があることを知る。
(メディアリテラシー)

3. 単元について

第3・4学年の「読むこと」における目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。本教材では「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を正しく読むこと」について主に扱う。

本教材は、NHK教育テレビで放送された内容をもとに、番組の出演者である作者が書き下ろしたものである。サッカーの試合を素材に、アップ(狭い範囲を映す撮り方)の映像とルーズ(広い範囲を映す撮り方)の映像それぞれの長所・短所が「しかし」「でも」の逆接の接続語を使って比較され、「このように～」以下の文でまとめられている。

4. メディアリテラシーに迫る手立て

①メディアリテラシー教材の活用

総務省メディアリテラシー教材「TVブラザーズのテレビ大冒険」は約20分の番組①テレビのふしぎ②テレビのはてな③テレビとくらしの構成で作られている。本時で活用する教材は①テレビのふしぎの中で描かれている「テレビのテクニック」である。ここでは、カメラワークによって、受け手の印象が変化することを理解することができる。具体的には、うさぎとカップが陸上トラックで徒競走をするシーンで、カップが転倒してしまうシーンではアップになり、「悔しそうな顔をしているカップ君」というナレーションが入る。このことにより、人物をアップで撮影をすることで人物の感情がより伝わりやすい、ということを理解しやすい教材になっている。教科書教材同様スポーツをテーマとしており、一度教科書で学習している児童にとっては馴染みやすい教材であると言える。

②現実を切り取り、情報を意図的に構成させることを送り手としての体験をさせる。

メディアリテラシー教材を使用してアップとルーズについて学習することで、教科書教材の内容をさらに深く理解することが1つのねらいであるが、永野(2002)や山内(2003)など、情報教育等に携わる研究者によれば、情報活動は受け手と送り手を循環して学習することで体験的に理解していくとされている。このことから、教科書やビデオといったメディアの読解にとどまらず、自らが内容について理解しながら送り手として発信する必要がある。

そこで、アップとルーズの写真在意図的に撮影させ、発表させることで発信を体験させ、制作者には意図があり、現実を構成していることを理解させたい。

5. 単元指導計画（全 10 時間）

- 第1次 「アップとルーズで伝える」を読み、筆者の説明の工夫に関心をもつとともに、「上手な説明のしかたの工夫を見つける」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。
- 第2次 段落どうしの関係を考えながら読み、文章の組み立てについて考える。
- ①説明の写真と文章の対応関係を考える。
 - ②接続語「しかし・でも」に着目して、「アップ」と「ルーズ」の伝えられることと伝えられないことをまとめる。
 - ③対比関係にある段落を見つける。
 - ④まとめている段落を見つける。
- 第3次 「アップとルーズで伝える」の説明のよさをグループや学級で交流し、「上手な説明のしかた」としてノートにまとめる。
- 第4次 テレビや新聞、雑誌などで「アップ」と「ルーズ」の使われ方を確かめ、説明するうえでのよさを調べ、報告し合う。
- 第5次 今までの学習を振り返り、意図的にアップとルーズの写真を撮影して発表する。（本時）

6. 本時の指導

(1) 目標

- ・アップとルーズの特徴をふまえながら、撮影の目的を考えて写真を撮影することができる。

(2) 指導計画

	○学習活動・予想される児童の反応	○留意点 ※評価
導入 5分	<p>1. 教科書 P30～34 を見せながら今までの学習をふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい内容にあわせてどちらかの写真を使っている。 ・組み合わせることもある。 ・ルーズでは雰囲気はわかる。 ・アップでは表情がわかる。 <p>2. TV ブラザーズのテレビ大冒険を視聴して、それぞれの場面について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かっぱくんが転倒して、悔しそうだった。 ・悔しい顔を見せたいからアップにしている。 ・うさぎさんがゴールした時もアップになった。 ・スタートのシーンはルーズだった。 	<p>○教科書の写真をプロジェクター画面で強調してみせる。</p> <p>○5:30 辺りから 1 分間ビデオを見る。</p> <p>○意見がでない時は、考えさせたいところでビデオを止めて質問する。</p> <p>※アップとルーズの特徴をふまえて発している。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>アップとルーズの写真を撮影して伝えよう。</p> </div>		
展開 3分 5分	<p>3. 宿題のワークシートで撮影するものを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何を撮ってもいいんですか？ <p>→人を撮る場合は許可を得るように</p>	<p>○撮影の意図がしっかりと書かれているか確認する。</p> <p>※アップとルーズの特徴をふまえて撮影するものや目的を考えている。(ワークシート)</p>
	<p>4. 操作の仕方を覚える。</p>	<p>画面で操作を見せながら、実際に撮影させる。</p>
	<p>5. 2人で撮影に出かける。</p>	<p>○時間通りに戻ってくるように伝える。</p>
	<p>6. 撮影した写真を見せながら、グループごとにクイズ形式で発表する。</p> <p>[発表の形式]～をアップで撮影しました。なぜ、アップで撮影したと思いますか？</p>	<p>○長引くので当てるのは先生が行い、解答は二人までにする。</p> <p>※アップとルーズの特徴をふまえて解答している。(発言)</p>
まとめ 5分	<p>7. 本時の感想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アップとルーズについて写真を撮って考えることで今までよりも理解できた。 ・一つの写真なのに違う意見があって、それぞれ見方が違うことが面白かった (気づいた)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何人かに発表してもらおう。 <p>※様々な解答や感想から一つの写真でも様々な見方があることについて気づいている。(ワークシート)</p>